

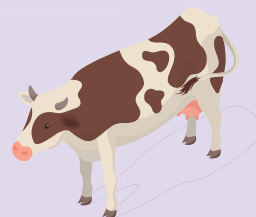
# 新発売

動物用医薬品 要指示 指定 使用基準

# アンピEZショット

ペニシリン系抗生物質製剤

注射用水または生理食塩液で  
4g（力価）あたり 20mL で溶解



## 3つのかんたんでEZショット

—素早くスムーズな投与ができるアンピシリンナトリウム製剤—

かんたん

### 1 筋肉内注射が可能に

従来の静脈内注射に加え、筋肉内注射での投与が可能になり、投与方法の幅が広がりました。獣医師の負担が減り、迅速な処置が可能です。

かんたん

### 2 素早い溶解で効率的

従来品と比較して、溶解時間が27%短縮され、使用準備がスピーディになりました。忙しい現場でもすぐに投与でき、時間を効率的に使えます。

かんたん

### 3 スムーズな吸引を実現

完全に溶解した液体はサラサラで、吸引や注射がより一層簡単になりました。注射の手間が軽減され、快適な使用感を実現します。

#### 【成分及び分量】

本品 1 バイアル中アンピシリンナトリウム…4g（力価）

#### 【効能又は効果】

##### （1）静脈内注射

有効菌種：本剤感性の次の菌種：ブドウ球菌、レンサ球菌、コリネバクテリウム、大腸菌、サルモネラ、パストツレラ

適応症 牛：肺炎、乳房炎、産褥熱

##### （2）筋肉内注射

有効菌種：本剤感性の次の菌種：パストツレラ

適応症 牛：パストツレラ性肺炎

#### 【用法及び用量】

本剤は用時、注射用水又は生理食塩液を用い、1g（力価）当たり 5mL に溶解する。

1日1回体重1kg 当たり、アンピシリンとして下記の量を投与する。

##### （1）静脈内注射

牛：肺炎、乳房炎 4～8mg（力価）、産褥熱 6～8mg（力価）

##### （2）筋肉内注射

牛：パストツレラ性肺炎 5～10mg（力価）

#### 【使用禁止期間】

##### （1）静脈内注射

牛：食用に供するためにと殺する前3日間

又は食用に供するために搾乳する前72時間

##### （2）筋肉内注射

牛：食用に供するためにと殺する前7日間

又は食用に供するために搾乳する前72時間

#### 投薬早見表

| 体重    | 推奨投与量 |
|-------|-------|
| 50kg  | 2mL   |
| 100kg | 4mL   |
| 300kg | 10mL  |
| 600kg | 20mL  |

製造販売業者



リケンベッツファーマ株式会社

埼玉県入間郡越生町成瀬829-6